

**米子市子どもの読書活動推進ビジョン（第三次計画）素案に対する  
意見募集（パブリックコメント）結果**

意見の概要と意見に対する市の考え方・対応方針

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>○読み聞かせボランティア団体同士が繋がっていない →〈提案〉 読み聞かせボランティア・読書推進施設等のネットワーク構築</p> <p>① 米子市内には読み聞かせボランティアの活動をしている団体が多くあるが、現在団体同士のつながりは皆無である。米子市立図書館、児童文化センターなどの施設を含めた読書推進ネットワークを構築すると、ますます活動の幅が広がるのではないかと。</p> <p>② 素案の中にも、人材の育成・研修会開催などの項目があるが、その他、団体運営の悩みなどを相談できる場、読書についての情報共有など、読み聞かせをされる側だけでなく、読み聞かせをする側も楽しめるような取り組みがあれば良いと思う。</p> <p>③ 大人だけではなく、小学校・中学校の図書委員など、子どもも含めての研修会などあれば、子どもが自主性も養われていくのではないかと。</p>	<p>①②について</p> <p>第三次計画素案14頁の「3. 子どもの読書活動に関わる人材の育成」における【施策の方向】の項目、「・子どもの読書活動に関わる者が、研修会などに参加するなどして、能力の向上を図ります。」「・市立図書館、児童文化センター、学校などで読み聞かせを行う読書ボランティアの育成に努めます。」に係る今後の取組みにあたり、貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p> <p>③について</p> <p>小学校・中学校の図書委員なども含めての研修会については、その開催目的及び開催方法等、検討すべき事項が多く見込まれますが、今後の研修会のあり方を検討する際に、貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
<p>○家庭での読書推進活動「家読」が浸透しない →〈提案〉 保護者（プレママ・プレパパ）への啓発活動の実施</p> <p>家庭での読書推進・図書館等の利用等については、保護者が「読書は大切」という気持ちがなければ浸透しないと思う。現在子育て中の保護者に伝えるのはもちろん重要だが、新しく親になるプ</p>	<p>第三次計画素案6頁の「1. 家庭・地域・学校・幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進 ①家庭の役割」における【施策の方向】の項目、「・家庭での子どもの読書活動の重要性について、保護者への理解に努めます。」「・保護者に対し、家庭での読書の大切さについて啓発に努めます。」に係る今後の取組みにあたり、貴重なご意見として、参</p>

レママ・プレパパにも啓発活動を行っていただきたいと思う。実際に米子市内の産婦人科の母親教室で、子ども読書アドバイザーの方が「絵本の教室」をされていて、かなりの妊婦さんが関心を持っていると聞く。子育てのスタートである妊娠時期に読書の重要性はぜひ知っていただきたい事項であり、自分が読書をする習慣がなくても、子どものことについては聞く耳を持っていただける時期でもあると思う。母子手帳交付時などに読書推進のリーフレットなどを配布してもいいし、図書館でマタニティ読み聞かせをしてもいいと思う。「読みメン」の啓発と合わせて広報をされてはどうか。

考とさせていただきます。